

図-47

③放流効果の検討

本調査における人工種苗の放流は放流尾数も少なく、追跡調査も十分に実施できていないため現時点で放流効果の検討をすることは適当ではないが、回収率を単純に沖縄北部海域で実施されているハマフエフキの人工種苗放流調査結果⁹⁾で得られている結果と比較すると今回得られた数値はその範囲内であった。しかし、本調査では再捕状況の調査について再捕報告だけによったこと、音響給餌ブイ周辺にはかなりの放流魚が滞留しており、まだ回収されていない放流魚があること等から、今回の結果はその効果を過小に見積もっていることも考えられる。したがって当海域における放流効果の検討については更に追跡調査を継続し、十分なデータを得る必要があるものと思われる。

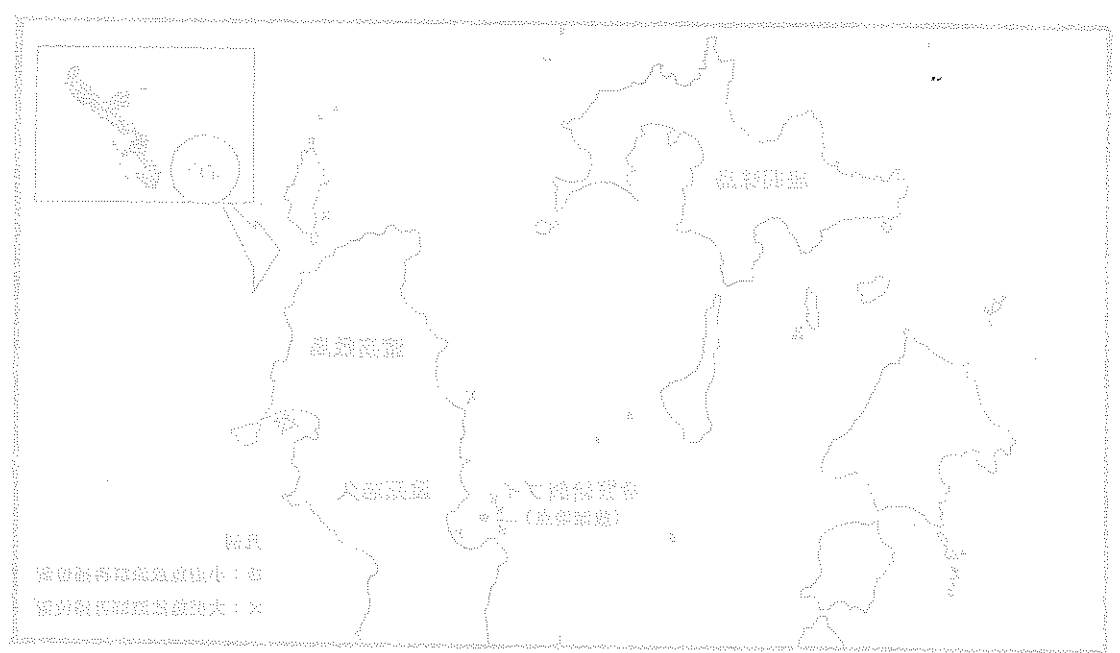


図-48 放流種苗の放流・再捕位置図